

(社)徳山薬剤師会の市民講演会講座を終えて

(社)徳山薬剤師会

2月26日午後2時より新南陽市民病院名誉院長 小田裕胤先生を講師にお迎えし「腰痛」～その原因、対策そして予防～ と題し、恒例の(社)徳山薬剤師会の市民講演会を開催した。午後2時からの開催であったが、当日は雨や雪も降らなかった程よい天気であり、12時半頃よりどんどん市民の方が席につかれ、最終的には350名以上の市民が来場された。新聞広告やホームページを閲覧した方の中で、遠方は下関から講演会に来場された。企画委員会で予想していた以上の市民が来場され、準備した200枚のアンケートやパンフレットが瞬く間になくなってしまった。座席がなく壁に寄りかかり立って居られる方々に、90分間の講演時間中ずっと立ちっぱなしにさせては気の毒であり、市民館に設営されているだけの椅子、長椅子を並べたが、来場者の一部の方には、立って聞いて頂かなければならなくなってしまった。

昨年も会場一杯に市民が参加されたが、みなさん座席に座ることができていたが、今回は、小田裕胤先生の講演と言うことで地元以外の市民も大勢参加されたようであった。

今回の市民講演会は盛会に終わったが、企画委員会としては、1, 来場者全員が座席に座れない状況があったこと。2, 配付資料の不足があったこと。3, 階段を上らなければならない会場で、高齢者への配慮に欠けたこと。など、来年度の開催にあたり、いくつかの課題も残った。

(社)徳山薬剤師会の保険薬局の方々には、市民(患者)へのポスター配布にご協力いただき企画委員会として会員のみなさまに感謝いたします。ありがとうございました。この講演を聞かれた市民が、小田裕胤先生の講演内容を参考に、日々すこやかに過ごされることを祈っています。

(ひの木薬局 御手洗昭子)

当日は、260名定員の小ホールに350名近くの方がおいでになり、2階の予備パイプ椅子が足りず、1階からも階段でパイプ椅子を何度も運んで、大変な大盛況でした。質疑応答も盛んに行われ、帰り際にも「腰痛体操の資料はもうないの?」「アンケートに書いておいたら先生に見てもらえるの?」「市民病院に直接行って先生に診てもらえるの?」など、要望は様々で、こんなに大勢の方々が日々腰痛に悩まされているのに、なかなか治療に結び付かず、『老化』と諦めていた現状を目の当たりにし、もっともつこのような啓発活動を拡げていく必要があると感じました。

(神女薬局 上田佳苗)

今年の講演会は、事前に薬局に置いていた講演会の案内パンフレットが早々に無くなってしまいうくらい皆さんの関心の高さを感じてはいたのですが、当日は予想を大きく上回る沢山の方にお越し頂き、席が足りなくなるほどでした。講演中も皆さん熱心に聞いておられ、講演後の質問コーナーでも沢山の方の質問があり、とても有意義な講演会であったと思います。

(神女薬局 中野大地)

講師の小田先生が高名であったことに加え、腰痛という身近なテーマであったことから、市民のみなさまが沢山来場され、(社)徳山薬剤師会開催の市民講演会は盛会に終了しました。市民の方々が熱心に聴講され小田先生に沢山の質問をされ驚きを感じました。

講演終了後、市民より「次の市民講演会はいつ頃開催されるのですか?」、「年に何回市民講演会が開催されているのですか?」などの質問を受けました。薬剤師会としては、市民に役立てていただいた講演会が出来、私も市民講演会企画委員の一人として講演会をお手伝いできたことを誇りに思っています。ぜひ、これからも市民講演会継続し続けるべき活動だと感じました。

(アイプラス調剤薬局東店 竹中千恵)

市民講演会に来場された市民のみなさまが350名を越し、想像以上参加で座席の不足による運び込みや市民のみなさまの空き座席への誘導などに企画委員会委員は準備に手間取る場面もありましたが、定刻には、小田裕胤先生の講演を開始することができました。

座長を仰せつかった者としては、市民講演会を大盛況で終えることが出来とてもうれしく思います。来年も大勢の市民の方に参加してもらえる演題を企画委員会委員と十分話し合い検討したいと思いました。

(桜田薬局 国本昌生)



受付風景



会場一杯の市民のみなさん



柳 範壽会長の挨拶



講演開始



小田裕胤先生



小田裕胤先生を囲む企画委員